

Mama's voice

町の子育て支援制度を活用しているママにお話をお聞きしました。

酒田みなみの保育園

利用者の声



やながわ 理沙さん

親子で成長した半年間

平成27年10月に第一子晴秋くんを出産した柳川理沙さん。約1年6か月間の育児休業を経て、今年4月、仕事に復帰しました。現在、晴秋くんは酒田みなみの保育園に通園しています。

「通いだめた頃は体調を崩しがちで、お休みばかりでした。親の都合で預け、子どもが体調を悪くするような環境に置いてしまっていたのか悩みました。」と、悩まれた日々を思い出して涙ぐむ柳川さん。入園して半年経った今、晴秋くんは元気いっ

ぱいに登園しています。

「苦手な野菜も保育園では周りの子の影響で、食べています。先生に褒めてもらえるのが嬉しみたいです。家族以外の大人から愛情を注いでもらえることは、本当にありがたいです。」と、保育園生活でいい刺激を受け、成長しているそうです。また、柳川さん自身も入園後、学んだことがあるそうです。

「時間の大切さを学びました。一緒にいられる時間が限られるので、育児中よりも子どもとの関わりが充実していると思います。」



▲保育園のお迎え

子育てを応援してくれるまち

これから開成町で子育てをする方々に向けたメッセージをいただきました。

「開成町は、子育てにおすすめな町です。産後の保健師さんの訪問に始まり、いちごクラブやあそぼう会、のびのび子育てルームなど、小学校に通うまでの間、途切れない子育て支援があり、町全体で子育てを応援してくれていると実感しました。他の市町に住む友人に話すととても羨ましがられます。」



▲哲哉さん、晴秋くん

子育て支援センター

利用者の声



おだ かよこ 香代子さん

広がる友だちの輪

生まれも育ちも開成町の小田香代子さん。先月、3歳の誕生日を迎えた穂香ちゃんと夫和之さんの3人暮らしです。穂香ちゃんと過ごす毎日の遊びの中で、支援センターをよく利用しているそうです。

「子どもが9か月の頃、友だちに誘われて初めて支援センターを利用しました。子どもの友だちもできましたし、私自身にもママ友ができました。ママ友には色々なことを教えてもらっています。また、子育てのベテランでもある保育士さんがいてくれるので悩み事があるときは、相談しています。いつでも気軽に相談できるところがあるのは、安心できます。もともと早くから利用すればよかったなと思います。」と小田さん。

友だちと一緒に成長

「月齢の早いお友だちと遊んでいると、お友だちにはできて、穂香にできないことがたくさんあります。そんな時、どうするのかと見ていると、一生懸命挑戦する娘の姿がありました。また、お友だちも穂香が玩具に登れないと手を差し伸べてくれました。一緒に遊ぶことで子ども同士、お互いに良い刺激を受けて成長しているなと感じます。」と小田さんは嬉しそうに語ってくれました。

産後の活用
ご夫婦とも九州出身の山本純布さん。旦那さんの勤務先に近い開成町に、小田原市から3年前に引っ越して来ました。現在、山本さんは、勤務先の静岡県三島市まで新幹線で通勤しています。ファミサポに登録したきっかけは、2人目の妊娠でした。「なかなか利用する機会がなかったのですが、ファミサポのスタッフの方に勧められ、2時間利用し、上の子を預ってもらいました。」



やまもと 純布さん

ファミリーサポートセンター

利用者の声

すると、いつも2人見ていたのが、1人になり、家事もでき、とでもリフレッシュできました。」と山本さん。

その後、月に1、2回、2時間の利用を始めたそうです。実際に預けてみて「まかせて会員さんとの良い出会いがあり、娘もとても楽しかったようで、行くのを楽しみにするようになりました。」とのこと。

仕事復帰後の活用
今年4月に仕事に復帰してからは、出勤時間が早いため、保育園の登園をファミサポにお願いすることがあるそうです。



▲勝也さん、芽以子ちゃん(1)、薫ちゃん(4)

「開成町は、子育てしやすいまちです。ファミサポの利用が30分単位で可能になるなど、どんどん便利になっています。子育てを支援する様々な制度があるので、どんどん調べて活用してほしいです。そして、利用者の声を発信して行ってほしいですね。」



▲ママと一緒に遊ぶ時間